

日々のニュースを国民の立場でわかりやすく真実を報道し解決策を示す



日刊 3400円 日曜版 800円

黒部民報

黒部市議会 日本共産党
連絡先 黒部市牧野446 電話52-1623番

憲法、TPP、原発、増税
政府の暴走を許すな
「憲法を改正する」に自民
党を含め5党が賛成し、改
憲の発議要件引き下げの、
96条改正を求めている。
日本の平和、住民の生活
を守るため、改憲阻止、T
PP参加反対、原発「即時
ゼロ」、消費税増税中止が
必要。国政に住民の願い
を反映させよう。

新庁舎建設 4億5千万円追加 これまでの約束はどうなった

六月議会報告



橋本文一議員

アベノミクスによる追加か、市長の考えは甘すぎる

橋本文一議員は日本共産党を代表して6項目について質問をした。
橋本文議員は「市長はこれまでの議会でも、新庁舎の建設費は新たに職員駐車場の建設を求めると、40億円以内で建設できると述べてきた。しかし、先の議会全員協議会で突如、約4億5千万円の追加をしなければ建設できないと

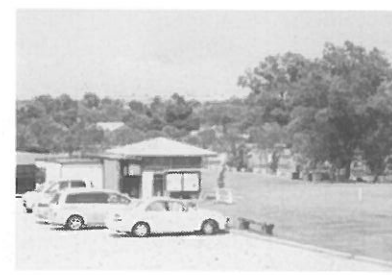
市長は「政府の緊急経済対策による公共投資の大規模な前倒し発注、インフレ目標の設定、円高は正による原油価格の高騰、現行の消費税率適用のための駆け込み需要等が相乗的に影響し合い、現在、想定を超えて供給側がひっ迫している。労賃と資材が高騰しており



市役所建設場所

しなければならぬと言ふ。国の政治でおきる建設費の追加の影響を受けるのは市民だ。これが自民党の政治だ。入札が遅れると今後どうなるか」と答弁した。
橋本文議員は「市長は3月議会でも40億円で建設できると言っていた。3ヶ月たったら政府の政策の関係で4億5千万円追加

しなければならないと言ふ。国の政治でおきる建設費の追加の影響を受けるのは市民だ。これが自民党の政治だ。入札が遅れると今後どうなるか」と答弁した。
橋本文議員は「市長は3月議会でも40億円で建設できると言っていた。3ヶ月たったら政府の政策の関係で4億5千万円追加



黒部川公園

市民病院 夜間救急受付の改善が必要

橋本文議員は黒部市民病院の夜間救急受付体制について住民から、「母が痰がつまり息が出来ず苦しむので、市民病院の夜間救急に行ったが、受付窓口には対応する人がいない。ようやくやぐガードマシ

橋本文議員は「市民病院の増築に伴い、昨年よりカリエールの工事が進められていたが、遅れていると聞いている。カリエール工事遅れが病院の増築に支障をきたす。進捗状況はどうか」と質問をした。



建設中の カリエール

橋本文議員は「市民病院の増築に伴い、昨年よりカリエールの工事が進められていたが、遅れていると聞いている。カリエール工事遅れが病院の増築に支障をきたす。進捗状況はどうか」と質問をした。

橋本文議員は「宮野山仏舎利塔・納骨堂へは車で前まで行けるが、障害者や高齢者は仏舎利塔へのお参りは、階段や段差が多く困難である。早急にバリアフリー化を図るべき」と質問をした。
市民生活部長は「建物までの参道の階段等が年配者にはつらいものとなっている。市として仏舎利塔前から入り口まで



仏舎利塔

生活相談は日本共産党黒部市議団

橋本文一 義
橋谷口弘

若栗3763 電話 54-1887番
堀高117-2 電話 52-3142番

96条の改正発議は 時の政権の意のままに

日本国憲法

憲法9条は平和とくらしを守るかなめ

橋本文一議員は、日本国憲法と平和について「最近、憲法を変えやすくするために、国会議員の発議条件、憲法96条の緩和の動きがある。狙いは、憲法9条を変え、日本を戦争のできる国にしようというの明らかである。国防軍や核武装を主張する政党、政治家もいる。日本国憲法は『政府の行為によって、再び戦争の



橋本文一議員

緩和、国防軍が必要、核武装をすべきとの主張もある。このような動きをどう思うか」と質問をした。

下水道の整備完了まで14年間も

橋本議員は「市の総合振興計画、後期基本計画では、公共下水道について、農業集落排水の公共下水道への接続などにより維持管理費の削減を図っていくとなっている。下水道未整備地区の住民からは、早く整備を進めてほしいとの要望が多くある。現在、事業認可を受けて進めている地域の完了予定と、黒部市全体の完了予定はいつ頃になるか。下水道事業で効率の悪い地域は、市での設置管理を行う合併浄化槽で進めては」と質問した。

上下水道部長は「現在の事業認可地域の管渠の整備は黒部市総合振興計画の事業配分から推測すると、概ね7年の期間が必要と考えている。認可地域の他に、残ったところが30ヘクタールあり、これを行うのに7年間の年月がかかることになる。



下水管の敷設工事

橋本議員は「広島・長崎に原爆が投下されてから68年目になる。日本でも世界でも、多くの人々が核兵器廃絶の声を上げている。日本非核宣言自治体協議会に加盟している黒部市として原水爆禁止世界大会への参加、市内で原爆パネル展を開催することなどで平和行政に生かせる」と質問した。

市独自で原爆パネル展の開催を

橋本議員は「今後新たに事業認可を受け、事業に取り組み地域と、その事業認可予定はいつになるのか。未整備の若栗両瀬地区の下水道を、住民が望む早い整備を行うこと、また、住民から下水道施設後の舗装が悪いと、効率的な舗装復旧に努める」と答弁をした。

水管施設後の道路舗装はすみやかに

橋本議員は「今後新たに認可事業を受け、事業に取り組み地域は、若栗地区ではグリーンタウン、大越、袖野、両瀬の一部、愛川地区、吉城寺地区です。道路舗装復旧工事は、3月補正により舗装復旧費が確保されており、道路管理者と協議して、効率的な舗装復旧に努める」と答弁をした。



核廃絶国民平和行進

新川育成牧場 譲渡前に運営計画を発表すべき 地権者との協議は行われているのか

橋本議員は「市は、新川育成牧場解散に伴い地権者の皆さんに迷惑をかけるまいと、今後とも協議を進めるとのことであったが、3月以降の様な協議が行われてきたのか。組合解散後、黒部に無償譲渡するとなつても、譲渡後のしつかりとした経営ビジョンを持つ必要があると述べていた。今議会に、新川育成牧場運営計画策定費200万円が計上されている。本来ならば解散前に譲渡後の運営計画・経営ビジョンを発表すべき」と質問をした。



新川育成牧場

役所ミス200万円の工事未払い金発覚

橋本議員は「昨年12月議会で『平成21年度石田地区で行われた道路拡幅工事が役所のミスでやり直しとなった。その工事代金が未払いとなっている。その請負建設業者が倒産した。破産管財人から300万円を超える未払い代金の請求が来ているのではないのか」と質問をしてきた。



道路拡幅場所

谷口弘義議員は、病氣療養中のため6月議会を欠席したことをお詫びします。